

2017年7月27日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

## 電通、データ分析とパフォーマンス・マーケティングに強みを持つ インドの有力デジタルエージェンシー「ソクラティ社」の株式51%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、データ分析とパフォーマンス・マーケティングに強みを持つインドの有力デジタルエージェンシー「Sokrati Technologies Private Limited」（本社：プネー市、共同創業者兼 CEO：Ashish Mehta、以下「ソクラティ社」）の株式51%を取得すること、および今後完全子会社化するオプションを当社グループが有することにつき、同社株主と合意しました。

2009年に設立されたソクラティ社は、高度なデータ分析とそれに基づくCRM戦略などをベースに統合的なデジタルマーケティング・サービスを提供しています。4億人ものモバイルユーザーを抱えるインド市場において、特にモバイル広告やEコマース領域のサービスで高い評価を得ています。同社は、Deloitteが発表する「Top 50 Technology Companies in India」において、過去4年連続（2013～2016年）でランクインしており、またGoogle Indiaの「Best Quality Accounts 賞」なども連続受賞しています。

本件買収の目的は、データ分析を基に企業のマーケティング活動を支援する当社グローバルネットワークブランド「Merkle」※（マークル、本拠地：米国メリーランド州）のインド拠点の確保による、当社グループの現地デジタル市場における規模およびクイパビリティの拡充にあります。この買収により、当社グループのインドにおける従業員数は3,500名に達し、そのうちの4割を超える約1,500名がデジタル専門スタッフとなります。

買収後、当社はソクラティ社をMerkleのネットワークに組み込み、ブランド名を「Merkle|Sokrati」（マークル|ソクラティ）に改称し、グループ各社との連携を密にすることで、インドでの成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2017年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

---

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Brand Agencies）、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

### 【ソクラティ社の概要】

社 名 : Sokrati Technologies Private Limited（ソクラティ社）

本社所在地 : インド・プネー市

設 立 : 2009年3月

株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 51%

収益(Revenue) : 2億2,500万インドルピー（約3.9億円）（2017年3月期）

代 表 者 : Ashish Mehta（共同創業者兼CEO）

Anubhav Sonthalia（共同創業者兼エンタープライズビジネス責任者）

従業員数 : 138名

事業内容 : 高度なデータ分析とそれに基づくCRM戦略などをベースに統合的なデジタルマーケティング・サービスを提供

以 上